

## BYD、国際自動車タスクフォース（IATF）に加盟 国際自動車品質規格の策定に参画し、次世代のグローバル標準づくりに貢献

- BYD が国際自動車品質マネジメント規格を策定・管理する IATF（International Automotive Task Force）に正式加盟
- 欧米メーカーを中心に構成されてきた国際標準の策定プロセスに新たに参画
- 電動化・知能化分野で培った技術と品質マネジメントの知見を、国際基準の高度化に活用



International  
Automotive  
Task Force

— 中国・深圳— 2026年3月11日

BYD はこのたび、世界の自動車産業における品質マネジメントシステム規格の策定を担う国際組織「International Automotive Task Force（IATF）」に正式加盟しました。今後は、世界の主要自動車メーカーおよび業界団体と緊密に連携し、電動化・知能化時代に対応した次世代の国際自動車品質規格の発展に貢献してまいります。

### ■ International Automotive Task Force（IATF）について

IATF は 1999 年に設立された国際組織で、グローバルな自動車産業における共通の品質マネジメントシステム規格（IATF 16949 など）の策定および実施を主導しています。加盟メンバーには、米国の AIAG、イタリアの ANFIA、フランスの FIEV、英国の SMMT、ドイツの VDA といった主要自動車産業団体に加え、欧米の主要自動車メーカー（OEM）も参加しています。

IATF が策定する規格は、グローバルな自動車サプライチェーンにおける「共通言語」として広く採用されており、世界の主要メーカーが最高水準の品質管理を維持するための不可欠な指標となっています。

## ■ 加盟の背景と意義

今回のBYDの加盟は、Automotive Industry Action Group (AIAG) による推薦およびIATFメンバーによる全会一致の承認により実現しました。これは、BYDの卓越した技術力と厳格な品質マネジメント体制が、国際的に高く評価されたことを示しています。

BYDの副総裁兼チーフ・クオリティ・オフィサー（CQO）であるZhao Jianping（趙建平）は次のように述べています。

「IATFの投票権を持つメンバーになることは、BYDが掲げる『技術主導・イノベーション志向』の理念が国際的に認められたことを意味します。同時に、中国の自動車産業が単なる『量的成長』の段階を超え、『技術と標準化による牽引』へと進化する重要な転換点でもあります。今後、BYDが新エネルギー車（NEV）分野で培ってきた革新的な技術と品質管理の知見を国際規格の体系に反映させ、IATFメンバーと共に自動車産業全体の持続可能な発展に寄与してまいります。」

## ■ BYDのグローバル展開



BYDは2025年、世界で460.24万台の新エネルギー車を販売し、4年連続で世界販売台数首位を獲得しました。海外市場においても飛躍的な成長を遂げており、2025年の海外向け乗用車およびピックアップトラックの販売台数は104.96万台（前年比145%増）を記録。現在、BYDの新エネルギー車は世界119の国と地域で展開されています。

世界的に電動化と知能化へのシフトが加速する中、BYDは今回のIATF加盟を新たな出発点と位置づけています。新エネルギー車分野における圧倒的な技術力と、原材料から完成車までを統合する垂直統合型の産業チェーンを活かし、国際的な品質基準の策定と高度化を力強く推進していきます。

【参考資料】本資料はBYD（中国・深圳）が発表したプレスリリースを日本語に抄訳したものです。

本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については当言語が優先します。

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2026年3月16日（月）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

### 本件に関するお問い合わせ：

BYD Japan Group お問い合わせフォーム：<https://byd.co.jp/contact/>

Copyright (C)2026 BYD Company Ltd. All rights reserved.